



会 報

留学生・奨学生地域交流集会を開催しました！

主として日本学生支援機構による奨学金の貸与を受けている日本人学生と、日本で学ぶ外国人留学生との交流の機会としての「留学生・奨学生地域交流集会」を、日本学生支援機構と共催で、今年是全国6箇所で開催しました。

東北地区で予定されていた交流集会は直前の豪雨のため中止を余儀なくされ、また東海地区の交流集会は台風の直撃も危惧されたため日程を短縮して実施しました。

開催された各会場では、いずれも楽しい雰囲気の中で国際交流が繰り広げられ、あらたな出会いと絆が生まれました。

北海道地区

日 程； 8/17（土）～8/19（月）
 会 場； 国立日高青少年自然の家
 参加者； 学生33名 スタッフ8名 計41名

東海地区

日 程； 9/14（土）～9/15（日）
 会 場； 国立乗鞍青少年交流の家
 参加者； 学生35名 スタッフ14名 計49名

関東地区

日 程； 8/23（金）～8/25（日）
 会 場； 国立赤城青少年交流の家
 参加者； 学生80名 スタッフ21名 計101名

近畿地区

日 程； 8/16（金）～8/18（日）
 会 場； 国立淡路青少年交流の家
 参加者； 学生45名 スタッフ13名 計58名

中国・四国地区

日 程； 9/6（金）～9/8（日）
 会 場； 国立江田島青少年交流の家
 参加者； 学生34名 スタッフ11名 計45名

九州地区

日 程； 9/22（日）～9/24（火）
 会 場； 国立夜須高原青少年自然の家
 参加者； 学生26名 スタッフ9名 計35名



全員集合！！（東海地区の交流集会にて）

このページから次のページまで、地域交流集会の各地区参加者の感想文とスナップ写真（いずれもごく一部ですが）を掲載します。日本学生支援機構と育英友の会のホームページで詳細を掲載予定です。感想文については紙面の都合上、一部編集（短縮）させていただいております。

自分にとって意味のある3日間

Hさん（近畿地区参加。日本人学生）

分科会では1つのテーマについてそれぞれの意見を述べました。日本人だけでは思いつかないような意見も他の国から来た人からたくさん得ることができました。

「人づくり」というテーマについては生まれた国も育った環境や言語も違うけれども1つのテーマについて意見を出し合うことでより絆が深まり、今回の「結」というテーマに近づくことができたと思います。

1番印象深かったのはキャンドルの集いです。1部では各班ごとに言葉を述べました。その言葉1つ1つにとっても感動してこれからもがんばろうという気持ちになることができました。また、天体観測では普段都会では見る事ができないほどの星の数の多さに圧倒され自然について考え直すことができました。

3日間では大して仲も深まることはないだろうと思っていましたが、この3日間でも絆は大変深まり、自分にとって意味のある3日間となりました。

チームワークの大切さを理解

Bさん（関東地区参加。留学生）

今回の留学生奨学生交流集会に参加し、様々な国や地域の友達と過ごした時間は私にとって何より収穫となりました。

皆と一緒に野外炊事して楽しく御飯食べたり、様々なイベントに参加したり、様々な面白いゲームを通して皆とコミュニケーション取ったりして3日間という短い間でもたくさんの友達をつくることができました。

文化も環境も言語も年齢も異なる大学生である以外ほとんど共通点のない私達はこの交流会を通してすごく仲良くなりました。

班ごとの出し物を出す時、全然触れたことのない文化をプレゼンするために必死で頑張っている友達の姿にとっても感動しました。

それを見た私は友情と人との絆やチームワークの大切さを理解することができたと思います。

人生の中で忘れられないぐらい楽しい3日間にしてくれた友達やスタッフの皆さんに心から感謝します。



北海道地区の交流集会でのひとこま

九州地区交流集会でのスナップ



国家間の不仲なんて関係ない

Kさん（東海地区参加。日本人学生）

学校からの案内で初めてこの交流集会の存在を知り、以前から国際交流に興味があったので迷わずに応募させて頂きました。

参加する前は少しでいいので他大や留学生の友達が欲しいくらいに思っていました。しかしいざ参加してみると、スタッフの皆さんが用意して下さっていたゲームなどを通じて思ったよりも大勢の方とあっという間に仲良くなる事が出来ました。皆さんが昔からの友達みたいに思え、自分でも驚きました。

留学生の皆さんとも国籍関係なく打ち解ける事が出来ました。いざ人を目の前にすると、国家間の不仲なんて関係ないと気付かされました。

また、参加者の年齢・国籍・性別は様々でしたが、皆やりたいことに向かって頑張っているという点は同じで、皆さんのお話はとても為になりました。

今回この交流集会に参加することが出来て本当に良かったです。ここで出会った仲間とはこれからも交流を続けていきたいと思えます。参加者の皆さん、そしてスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

実際に話しを聴くことには敵わない

Tさん（北海道地区参加。日本人学生）

私が今回、北海道地区留学生奨学生地域交流集會に参加したのはできればカナダ人の方の話しを聞きたいと思ったからです。実際に参加するとカナダ人の留学生はいませんでした。韓国・中国・タイ・マレーシアから来た留学生と出会うことが出来ました。

その中でも、私はマレーシアから来た留学生と仲良くなりました。私は、彼女と出会うまでマレーシアのことやイスラム教のことをよく知りませんでした。ですが、彼女からイスラム教は豚肉を食べないが祈りをされた豚肉は食べることができ、日本にいるときはネットで購入していることや、髪の毛を隠すスカーフを人によってはしない人がいることを教えてもらいました。

さらに以前中国の食文化について調べたときに「中国人はご飯を残すことが料理を作ってくれた人に対して、感謝の気持ちを表す」ということを知ったので中国人の留学生にそのことを伝えると、「中国は広いので様々な文化が存在する。そのため、料理を残す人もいればきちんと全部食べる人もいます」と言われました。

今回参加して感じたことは、パソコンや携帯電話がいくら普及しても実際に話しを聴くことには敵わないということでした。

いい人たちばかり

Rさん（中国四国地区参加。留学生）

初めてこういう活動に参加した。すごく素晴らしい活動だと思う。

普段は学校とバイト先以外ではあまり日本人と交流機会がなかった。この交流集會ではいろいろな人と話して、遊んで新鮮に感じた。

日本の歌を歌ったし、日本のゲームを遊んだし、楽しかった。みんな仲間想いで、文化や習慣がやはり違う点はあるけれど、理解してくれるのはありがたい。

日本語はまだ下手なので、分からない言葉も多いが、隣に座った友人は詳しい説明をしてくれたのでほっとした。スタッフたちも親切だったので、いい人たちばかりだなと思った。

初めて畳で寝たのだが、よく寝られたのはよかったと思う。何事もいい経験だ。

関東地区の交流集會にて



一歩踏みだしてみることの大切さ

Fさん（九州地区参加。日本人学生）

私は今まで普通の毎日をこなすことに必死でこのような機会はスルーしてきたのですが、今回夏休みということもありこの交流会に参加しました。

国籍も違えば、歳も違う人達の中でははじめはやっていけるだろうか戸惑いも覚えました。いざ参加してみるとみなさんが優しく話しかけて下さったので、そんなこと全く心配いりませんでした。文化の違い、好きなこと、自らの体験と話の内容はみなさんそれぞれとても豊かで、昨日今日初めて会ったとは思えないほど楽しく盛りあがることができました。

2泊3日間過ごしてみるとあっという間で、でもこの交流会で出会ったみんなとはずっと前から仲間同士だったような気がしてなりません。おそらくこの機会でした出逢うことができなかつたであろうみんなと同じ時間を過ごせて本当に良かったです。少し勇気を出してこの交流会に応募してみて良かったです。一期一会の出逢いを大切にこれからもいろいろなことに踏み出そうと思います！

スタッフの皆さんをはじめみなさんありがとうございました！



近畿地区（海岸にて）



中国・四国地区（フェリー上にて）

大会報告

2013年5月25日(土)～26日(日)、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて2013年度大会が開催されました。

◎2012年度活動報告

- 1 総務・事務局
 - (1) 大会・理事会の開催
 - (2) 会員データベースの管理
- 2 事業関係
 - (1) 留学生奨学生地域交流集会
 - (2) 日本学生支援機構との連絡調整
- 3 広報関係
 - ・ 会報及び支部報の発行、送付
- 4 財務関係
 - (1) 2012年度決算
 - (2) 会議関係経費の節減

◎2013年度事業計画

- 1 総務・事務局
 - (1) 大会・理事会の開催
 - (2) 会議についてインターネットの活用の検討
- 2 事業関係
 - (1) 留学生奨学生地域交流集会の開催方針
 - (2) 全国スタッフの集いについて
- 3 広報関係
 - ・ 会報及び支部報の発行、送付、基準の見直し
- 4 財務関係
 - (1) 2013年度予算案
 - (2) 会議関係経費の更なる節減の可能性の検討



友の会あてメールへのお願い

育英友の会あてに、日本学生支援機構の奨学金についての相談、問い合わせのメールをいただくことがあります。

申し訳ございませんが育英友の会は、日本学生支援機構とは別の団体です。

奨学金に関する問い合わせは日本学生支援機構の奨学事業相談センター(0570-03-7240)へ直接お問い合わせください。

育英友の会からの回答は御容赦願います。

友の会への問い合わせ

育英友の会事務局には、常駐する関係者がおりません。申し訳ございませんが、お問い合わせなどは、下記あて先までメールでお願いします。

refer-itomo@ikueitomonokai.jp

住所が変わられた方も、メールでお知らせください。

育英友の会ホームページアドレス

育英友の会ホームページ <http://www.ikueitomonokai.jp>

北海道支部	http://www.ikueitomonokai.jp/hokkaido/
東北支部	http://www.ikueitomonokai.jp/tohoku/
関東支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kanto/
北信越支部	http://www.ikueitomonokai.jp/hokushinetsu/
東海支部	http://www.ikueitomonokai.jp/tokai/
近畿支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kinki/
中国四国支部	http://www.ikueitomonokai.jp/chushikoku/
九州支部	http://www.ikueitomonokai.jp/kyushu/

